

災害対策現地情報連絡員(リエゾン)活動

3 / 12 ~ 6 / 3 ~ 石巻市、女川町に延 88 名の職員を派遣 ~

新庄河川事務所では、地震発生翌日の3月12日から宮城県石巻市へ職員を災害対策現地情報連絡員(通称:リエゾン)として派遣し、被災状況等の各種情報収集と関係機関との連絡調整を行い、3月21日からは宮城県女川町へ移動し活動してきました。

リエゾンは、東北地方整備局全体で4県31市町村に派遣され、そのうち新庄河川事務所では、石巻市及び女川町へ29班延88名の職員を派遣しました。

今回の大災害により被災した自治体では、庁舎や通信施設等に大きな打撃をもたらしており、リエゾンが持参した衛星電話は麻痺した自治体の通信確保に貢献しました。また女川町では、仮設住宅の適地アドバイスや道路冠水に対する対応等の技術的活動、町の要望等を東北地方整備局へ逐次連絡し、調整を図りながら地震計を設置するとともに、町の要望に応じて緊急的な支援物資の提供等を行いました。

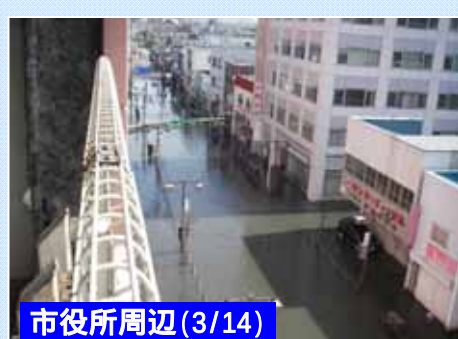
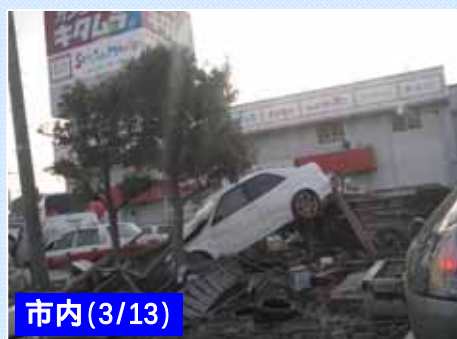
新庄河川事務所が女川町に派遣していたリエゾンの活動は、地震発生から84日が経過し、通信施設や交通網が復旧し、復興に向けた自治体の本格的な活動が始まったこと等から、6月3日をもって終了しました。



被災状況(女川町)



被災状況(石巻市)



リエゾン活動状況(女川町)



リエゾン活動状況(石巻市)



リエゾン派遣状況

派遣場所	派遣期間	派遣人数	備考
石巻市	3/12~3/22	延15人	第1班~第5班 3/23以降、近畿地整に引継
女川町	3/21~6/3	延73人	第5班~第29班

派遣職員は食料、宿泊等、全て自己完結型で実施しました

災害対策現地情報連絡員(リエゾン)は、災害時における一般被害、公共土木施設被害等の情報交換を行い、適切な災害対処に資することを目的に、国土交通省から関係市町村に職員を派遣するものです。

がんばろう! 東北